

ハイパーサーミア業務における問題点と改善策

臨床工学科 元村哲也、吉村秀、嶽本洋、真鍋麻実
放射線科 寺嶋廣美
看護科 井上文江、斉藤まゆみ

はじめに

平成 24 年 6 月 6 日にハイパーサーミアを開始して 2 年が経過した。徐々に患者数が増え、現在では最大で一日に 11 例治療を行っている。一患者に 1 時間の枠を取り、50 分間の加温を行い時間内に終えるために行っている改善策を報告する。

目的

一患者を 1 時間以内に終わるように業務改善を行う。

改善策

1. ベッドを下げない
2. 患者ごとの電極位置を記録し、ベッドサイドに貼る
3. オーバーレイボラスの温水切替を通常より早く行う
4. 待ち時間等でオーバーレイボラスを発信管の上で保温する
5. オーバーレイボラスを水洗いから拭き取りに変更

結果

以上の作業で 5 分間短縮することができた。

考察

5 分の時間短縮が可能となり、予定時間内に治療が行なえるようになったことは、患者の負担軽減に繋がったと考える。